

### 【目次】

1. 立命館京都学研究会を振り返る
2. 戦前・戦中・戦後の京都に関する聞き取り調査
3. 立命館慶祥中学校2年生京都研修

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

(Tel/Fax 075-466-3485)

(Mail: aso0605@fkc.ritsumeikan.ac.jp)

立命館大学文学部京都学専攻 facebook

<https://www.facebook.com/ritsu.kyotogaku/>

## 1.立命館京都学研究会を振り返る

京都学専攻では「京都」を軸に文学・歴史学・地理学をはじめ様々な分野から教育・研究・地域連携などの活動が盛んに進められていますし、これこそが京都学のいちばんの強みであります。

そこで、京都学に関わる皆様の互いの議論・意見交換・コラボレーションの機会を積極的に設け、京都学の一層の発展を目指すべく、「立命館京都学研究会」が2014年に発足いたしました。

早いもので、2014年に始まった研究会も今年で4年目になります。これまで文学、歴史学、考古学、新聞学、地理学、民俗学など実に幅広い分野からの京都(学)についての研究発表が行われてきました。2017年10月までの段階で通算19回にわたって開催されてきました。

そこで、これまでの本研究会の歩みを簡単に振り返ってみましょう。

### 【2014年度】

通算	年度	発表者	タイトル	日時	場所
1回目	1回目	瀧本 和成 先生	「近代文学と〈京都〉」	2014年6月25日	京都学共同研究室
2回目	2回目	田中 聡 先生	「地域史研究と映画『祇園祭』をめぐる一」	2014年7月23日	京都学共同研究室
3回目	3回目	河角 龍典 先生	「長岡京・平安京のまちづくりと風景」	2014年10月29日	京都学共同研究室
4回目	4回目	山崎 有恒 先生	「歴史学から見た京都イメージ研究—われわれは「京都」に何を学ぶべきなのか—」	2014年11月26日	京都学共同研究室
5回目	5回目	河島 一仁 先生	「京都・立命館のキャンパス地誌」	2014年12月17日	清心館525教室
6回目	6回目	須藤 圭 先生	「嘘つきの「京都」—光源氏のモデルは義経か?—」	2015年1月14日	京都学共同研究室
7回目	7回目	麻生 将 先生	「近現代の京都におけるキリスト教会の誕生・移動・消滅」	2015年3月25日	京都学共同研究室



瀧本 和成 先生



田中 聡 先生



河角 龍典 先生



山崎 有恒 先生



河島 一仁 先生



須藤 圭 先生



麻生 将 先生

## 【2015年度】

通算	年度	発表者	タイトル	日時	場所
8回目	1回目	内田 孝 氏	「京都新聞総合研究所が目指すもの」	2015年6月24日	京都学共同研究室
9回目	2回目	山崎 有恒 先生	「世界地域学の動向と京都学～京都学はどこへ向かうべきか？」	2015年9月30日	京都学共同研究室
10回目	3回目	谷端 郷 先生	「昭和期京都市における浸水域の変遷—GIS(地理情報システム)を用いた時空間分析—」	2015年11月25日	京都学共同研究室
		佐藤 弘隆 氏	「大規模京町家のアーカイブについて」		
11回目	4回目	谷崎 友紀 氏	「旅日記にみる近世京都の名所見物」	2016年1月13日	京都学共同研究室



内田 孝 氏



山崎 有恒 先生



谷端 郷 先生



佐藤 弘隆 氏



谷崎 友紀 氏

\*2014年度は発足年だったこともあり、京都学専攻スタッフ全員がそれぞれの専門分野から見た京都について発表しました。

\*2015年度の前半は京都(学)の現場、最前線で何が起きているか?に関して、後期は新進気鋭の若手研究者からみた京都についてそれぞれ発表しました。

\*2016年度前半は京都学専攻に着任された先生方がそれぞれのご専門から見た京都について、後半は民俗学、地理学から見た京都についての発表が行われました。そして、日本の食文化に関する丹念で詳細なドキュメンタリー映画の鑑賞がありました。

## 【2016年度】

通算	年度	発表者	タイトル	日時	場所
12回目	1回目	河角 直美 先生	「『京都市明細図』から読み解く京都の景観変遷」	2016年5月27日	京都学共同研究室
13回目	2回目	田口 道昭 先生	「与謝野晶子・鉄幹の京都」	2016年7月1日	京都学共同研究室
14回目	3回目		「千年の一滴 だし しょうゆ (2014年/日本・フランス/100分) 上映会」	2016年10月28日	平井嘉一郎記念図書館シアタールーム
15回目	4回目	三浦 俊介 先生	「洛北深泥池の節分儀礼」	2016年11月18日	京都学共同研究室
16回目	5回目	大島 明 氏	「京都への視点—常(つね)のまちを撮る—」	2016年12月16日	敬学館232教室



河角 直美 先生



田口 道昭 先生



『千年の一滴 だし しょうゆ』上映会



三浦 俊介 先生



大島 明 氏

### 3.立命館慶祥中学校2年生京都研修

2017年10月19日(木)の午前中、京都研修旅行の立命館慶祥中学校の2年生18名が京都学専攻共同研究室に  
来訪し、京都の伝統産業についての調査と研修を行いました。前半は京都学専攻の授業「京都学フィールドワーク  
Ⅱ・Ⅲ」の取り組みをご担当の麻生先生がご説明くださり、その後で「京からかみ」を刷る体験をしました。その後、花  
豊造園の山田さんに龍安寺の庭園を案内していただき、日本の伝統的な庭園について貴重なお話をいただきました。  
遠いところをお越しいただき、ありがとうございました。



麻生先生による説明



木立先生による実演



版木を選びます



京からかみ初体験



アドバイスを受けながら作業



良い作品に仕上がりました

## 【2017年度】

通算	年度	発表者	タイトル	日時	場所
17回目	1回目	高正龍 先生	「京都の道しるべ」	2017年5月26日	京都学共同研究室
18回目	2回目	本多潤子 先生	「後水尾院と禅宗」	2017年7月28日	京都学共同研究室
19回目	3回目	松岡恵悟 先生	「京都郊外における近代洋風住宅の存続・消失動向について～近代化遺産デジタルマッピングの活用～」	2017年10月18日	京都学共同研究室



高正龍 先生      本多潤子 先生      松岡恵悟 先生

＊2017年度は歴史学・文学・地理学という、まさに京都学らしい研究発表となっています。そして記念すべき通算20回目は・・・

2017年12月1日(金)18時から本学文学部非常勤講師の丸山彩先生に「**明治期の京都における「音楽」の導入—女学校における教育に着目して—**」というタイトルでご発表いただきます。立命館京都学研究会はオープンな会ですので、どなたでもお越しいただけます。ぜひふるってご参加いただけますと幸いです。

## 2.戦前・戦中・戦後の京都に関する聞き取り調査

2017年10月28日(土)の午前中、中京区にお住まいの89歳の方に太平洋戦争中と戦後をどのように生きてこられたかについて、ライフヒストリー調査を行いました。

今回のライフヒストリー調査を通して、京都の中心部で行われた建物疎開や勤労動員、戦中戦後の生活ぶりなどについての非常に貴重なお話をうかがうことができました。京都学専攻では馬町空襲に関する聞き取り調査も2014年に実施しており、これからも地域の人々による生の声をはじめとする史資料から京都の知られざる地域史を掘り起こしていきたいと思えます。

